

報 恩 寺 だ よ り

昭和53年7月12日

神奈川県高座郡綾瀬町寺尾889

おたすけ観音 報 恩 寺

電話 0467-78-7160

◎ お施餓鬼会勤修について

例年のとおり大施餓鬼会を勤修いたします。特に新盆（昭和52年7月～昭和53年7月におなくなりになられた方）の御施主様は御参詣下さい。

※8月7日（月曜日）午後0時30分 御詠歌
 午後1時 法話 山田拙成老師
 午後2時 大施餓鬼会

※つけ施餓鬼回向料（塔婆代）2,000円、御希望の方は7月20日までに担当の世話人さん、又は当山へお申し込み下さい。ご参考までに年回早見表は下記のとおりです。

回忌	1	3	7	13	17	23	27	33	50	100
年	昭和 52	昭和 51	昭和 47	昭和 41	昭和 37	昭和 31	昭和 27	昭和 21	昭和 4	明治 12

◎ 永平寺研修参拝について

10月11日・12日・13日の研修参拝には次の方々に参加されます。

（寺尾）近藤俊平・橘川 勇・小山田キヨ・柏木カネ・柏木シグ・小山田ヤエ
 橘川トヨ・三ヶ島博明・橘川いさを・近藤千代子・近藤キン・橘川ふく代・橘
 川マン・森町ハツ子・森町ユキ・森町セン・保坂すゑ子・古川シズ・小山イセ
 橘川サダ・川井梅吉・川井サト・笠間トヨ・大久保弘吉・神山喜美江・剣持守
 正（横浜）剣持照隆・中西忠兵衛・後藤 正・小山田エイ・（早川）森山し
 げ子・宮川さつき・佐須田秀吉・（蓼川）山口タキ・山口 重・戸井田タケ・
 大塚ツネ子（大和）山下テイ・山下マチ子・早川ヒサエ・早川茂子・武山綾
 子・綾部はつえ・斉藤みさを（藤沢）笠間イク

※日 程 第一日 10月11日 報恩寺ー養老サービスエリア
 7:30 13:00（昼食）

永平寺（電077663-3102）
 16:30

第二日 12日 永平寺ー琵琶湖ー比えい山ー
 8:30 12:00（昼食） 13:30~14:30

銀閣寺 — 平安神宮 — ホテル京都サンフレーザー
15:20~15:50 16:10~16:40 17:00(電 075-761-9111)

第三日 13日 ホテル — 西陣織 — 二条城 — 清水寺 —
8:00 8:30~9:00 9:20~10:20 10:35~11:20

茶屋 ——— 京都東I.O — 報恩寺
11:30~12:00(昼食) 12:30 19:30

※ 会費24,000円は8月7日に御納付下さい。

◎ 先祖供養、遠い遠い無限の「いのち」を大切に受けつごう。

お盆を迎えて精霊棚を作り、御霊を迎えて先祖を偲ぶ頃となりました。先祖というものを意識するのが現代人の持つ大きな特色と云えるでしょう。先祖供養とは何なのでしょう。私達にとって先祖は、欠く事の出事ない血であり、肉であります。先祖の生命を受けついで、私達の肉体と生命は有るのですが、そう云うつながりだけで先祖と云ってよいのでしょうか。

私達は先祖の供養として年忌の法要をしたり、お墓参りをしたり、お寺での施餓鬼法要に参詣し、亡き方々の精霊の浄化に勤めています。

先祖は大きく分けて、2つに分ける事が出来ます。それは遠い遠い先祖と、現在の家族の誰かが記憶している範囲で亡くなった肉身のことです。

最近、報恩寺の過去帳から笠間、剣持、早川、重森と橘川の一部の13~15代前、300~400年前からの系図を調べましたが、殆んどが報恩寺の出来た376年前か、又は300年前から始り、江戸時代の寺尾戸数が80戸、明治5年に84戸と云う事と合致して、分家、本家のはっきりしている家でも、300年前に分家していました。

私達の心の中に「ご先祖」と云う言葉をかみしめてみる時、単に生前の記憶がある亡き肉身だけでなく、遠い遠い「いのち」の流れにしみじみとしたものをおぼえ、先祖の方達の労苦と、子孫への愛情が感ぜられます。人間は限りあるいのちですが、先祖からの「いのち」は実に限りないいのちの中に位置すると云えましょう。この事を味う時、私のいのちをおごそかに味うために、先祖の供養をせずにはおれません。私のいのちは子々孫々に受け継がれてゆく重大さを思う時、この無限の生命を味い、先祖供養を忘れては生きられないと云えるのではないのでしょうか。